



## ほのおは、どうして赤い(オレンジ)色をしているの

### 赤い色や青い色などがある

ろうそくのほのおの色は、赤い色をしていますが、ガスストーブのほのおの色は、青い色をしています。

ガスストーブのほのおの色は、空気の調節を変えるだけで、青い色のほのおから、赤い色のほのおになったりします。

### 空気の量が少ないと赤い色になる

ろうそくのほのおが、赤い色をしているのは、ほのおの中に炭素のつぶがあって、これが完全に燃えないで、赤くかがやいているからです。

ガスストーブでも完全に燃えていないときは、赤い色のほのおになっています。このときは空気の量が少ないので、完全に燃えていないのです。空気がじゅうぶんにあるときは完全に燃えるので、青い色のほのおになります。青い色のほのおは、赤い色のほのおのときに比べて、かなり温度が高くなっています。

また、燃える物の中に塩が混じると、きれいなオレンジ色になり、銅が混じると緑色になります。火の色は、燃える物によっても変わります。

そのほかに、いろいろの色のほのおを見ることができるのは、花火です。花火のほのおは、赤、黄、緑、青などいろいろな色が入っています。このように、ほのおの色は赤い色だけではありません。(監修・小川 格)

